

図4. 4-1
調査結果（第二種特定有害物質）
（現在地表面）

凡 例

【調査対象範囲】

対象地

【試料採取等対象物質】

＜第二種特定有害物質＞
カドミウム及びその化合物
六価クロム化合物
シアン化合物
水銀及びその化合物
セレン及びその化合物
鉛及びその化合物
砒素及びその化合物
ふっ素及びその化合物
ほう素及びその化合物

架空配管

【土壌汚染のおそれの区分】

-  土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地
(排水処理施設、脱水設備立地部など)
-  土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
(場内通路、管理棟立地部など)
-  土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地
(敷地境界付近の緑地など)

【調査地点】

-  土壌試料採取地点
(全部対象区画：地表面)
(15地点採取、評価15検体)
-  土壌試料採取地点
(一部対象区画：現在地表面)
(19地点採取、評価7検体)

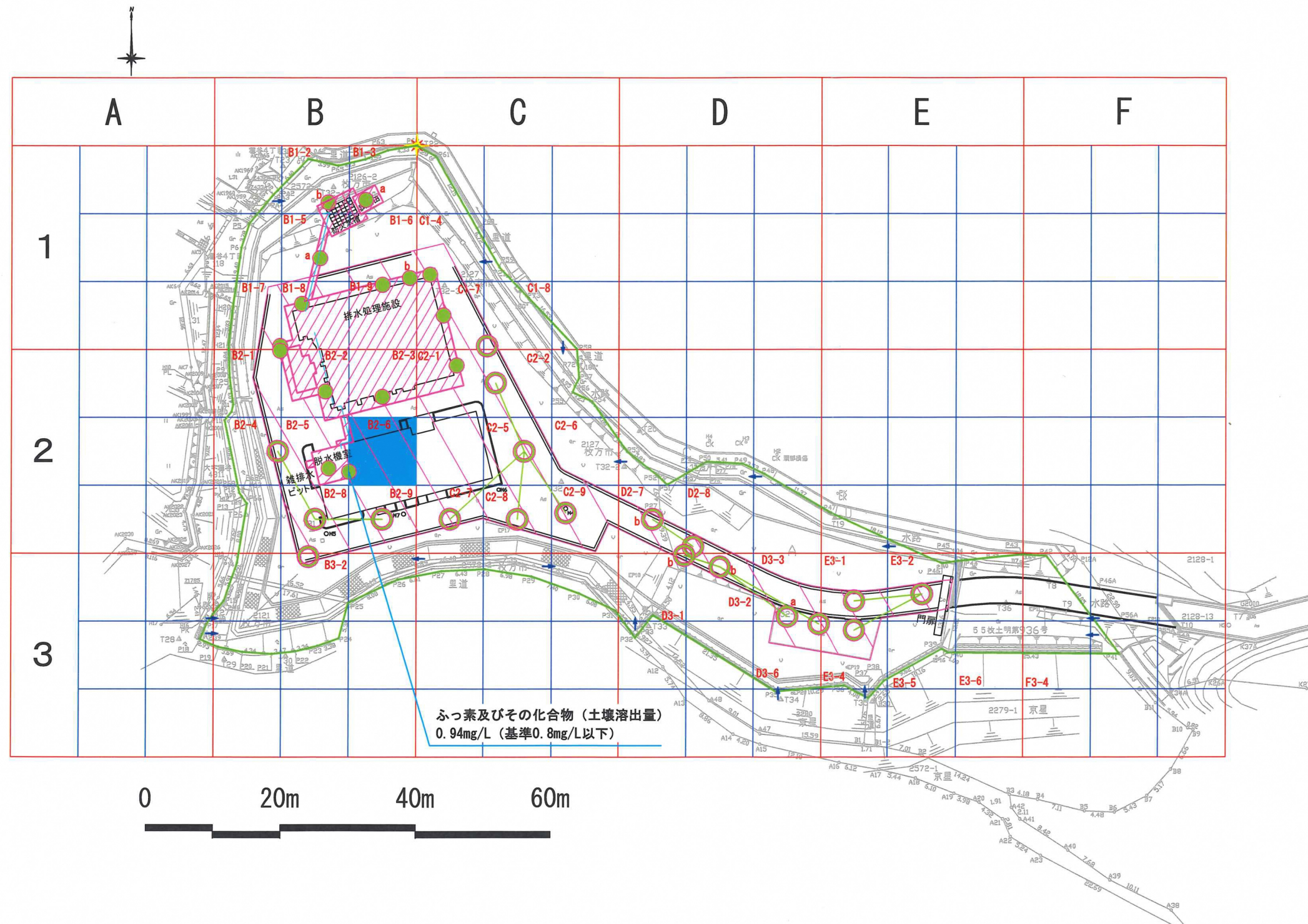
【調査結果】

 基準不適合区画
(ふっ素及びその化合物：土壌溶出量)

注) 基準不適合の項目・結果のみ記載



SCALE (A3) : 1/700



注) 図中の英小文字は同一単位区画内に複数の調査地点が存在する場合の識別の記号である